

■統計若しくは統計的研究の成果又はその概要等

管理番号 11820006

□調査票情報の提供を受けた者の氏名又は名称

野田 知彦  
平野 大昌

□調査票情報の提供を受けた者（個人に限る。）の職業、所属その他の当該者に関する事項

大阪府立大学経済学研究科 教授  
名古屋市立大学大学院経済学研究科 准教授

□提供した調査票情報に係る統計調査の名称

経済産業省企業活動基本調査

□提出された統計若しくは統計的研究の成果又はその概要

科研費研究課題「職場のソーシャル・キャピタル、信頼の形成とその効果に関する総合的研究」で示された以下の研究を行った。  
雇用の安定性に対する信頼、つまり雇用を守ろうと努力する経営者に対する従業員の信頼が、彼らのモチベーションを上げることによって企業の生産性に与える影響を企業レベルのパネルデータを用いて分析した。具体的には、労働組合や従業員組織のような労使間のコミュニケーション促す制度がある企業とない企業の別に雇用調整関数と生産関数を計測した。これらの制度がある企業の方が、従業員の経営者に対する信頼が形成されているとすれば、雇用の調整速度が遅く、また生産性が高くなっていると予想できる。また、取締役の中での従業員出身者（内部出身者）が多いほど従業員の経営者に対する信頼が高くなっていれば、同様に内部役員比率の高い企業の雇用の調整速度が遅く、生産性が高くなっていると考えられる。これらの点を検討するため、経済産業省企業活動基本調査を使って計量分析を行った。

□上記統計の作成又は統計的研究を行うに当たって利用した調査票情報に係る統計調査の名称、年次、当該調査票情報の地域の範囲その他の当該調査票情報を特定するために必要な事項

調査名： 経済産業省企業活動基本調査

年次： 平成4年及び平成7年～2019年

地域： 全国

調査名：

年次：

地域：

□学術雑誌等の名称及び掲載年月日

Tomohiko Noda, Daisuke Hirano, "The effect of enterprise unions on employment adjustment speed in Japanese firms", British Journal of industrial relations, 2024, Vol.62. p.645-669. 2 March 2024